

ふくしまから はじめよう。

福島県

【編集・発行】福島県広報課  
〒960-8670 福島市杉妻町2番 16号  
☎024(521)7014

# ゆめだより

福島県広報誌

10月号

2012 No.234

年6回(偶数月)

皆さんのもとにお届けします。



特集

## 未来を担う 子ども・若者を 育てるために



【請戸の田植踊】の衣装を着て  
演じる子ども達

地域伝統芸能全国大会 福島大会  
ふくしまの祭り2012  
題字 菊池錦子

平成24年10月27日(土)・28日(日)

出演団体 請戸の田植踊



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

ふくしまからはじめよう。ゆめ|だ|よ|り

2012  
No.234

10月号

C O N T E N T S

もくじ

- ふくしまの宝「彩」…………… 2
- 特集：未来を担う子ども・若者を  
育てるために…………… 4
- 震災の記憶…………… 7
- ふくしまの食…………… 8
- キビタンのわかる県政…………… 9
- 震災関連相談窓口…………… 9
- ふくしまの今…………… 10
- 地域ゆめ情報…………… 12
- 県からのお知らせ…………… 14
- 施設インフォメーション…… 15
- ゆめクイズ…………… 16

【表紙】

浪江町「請戸の田植踊」は300年以上前から伝わる民俗芸能で、毎年2月の「安波祭」に奉納されてきました。近年は地元の小学生を踊り手として集め、育成し継承してきました。ところが震災の津波により、請戸地区は大きな被害を受け、衣装も全て流出し踊り手も全国各地に避難。離ればなれとなった子ども達は、地元の絆を復活させたいという願いと、震災犠牲者の鎮魂、地元復興への思いを込めて、「ふるさとの祭り2012」（7ページ参照）に出演します。

ふくしまの宝



1. 土津神社の紅葉 (猪苗代町) 土津神社 ☎ 0242-62-2160



福島は、晩秋になると山々の紅葉が見事な美しさを見せてくれます。気温が下がると一斉に葉の緑色が抜け、色づきます。紅葉の葉は、冬が訪れる前に生まれた新芽を有害な紫外線から守り、そして美しく散ります。県内各地の紅葉の鮮やかさは、木々の葉が自らの役割を最後の最後まで果たした証でもあるのです。

街なかの公園、寺社、さらには山々の色づきを訪ね歩くひとときは、きつと楽しく有意義な時間になるはずですよ。

県内各地の美しい紅葉を訪ねて、その生命を守るため彩る神秘的な木々の葉の移り変わりに思いをはせてみませんか。

2. 翠ヶ丘公園の紅葉 (須賀川市)  
みどりがおかこうえん  
 須賀川市役所 ☎ 0248-75-1111
3. 中釜戸のシダレモミジ (いわき市)  
なかかまど  
 いわき市役所観光物産課 ☎ 0246-22-7477
4. 宝蔵寺のモミジ (南相馬市)  
ほうぞうじ  
 蔵蔵寺 ☎ 0244-46-2097
5. 中子大橋の紅葉 (西郷村)  
かしのおほし  
 西郷村観光協会 ☎ 0248-25-5795
6. 紅葉に囲まれた前沢集落 (南会津町館岩)  
まえざわしゅうらく  
 南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎ 0241-78-2546

## ふくしまの宝

次の生命を守るために見事に色づき、美しく散る。その光景は秋を彩る美しい福島の宝です。



3



4



5



6

子育て  
教育

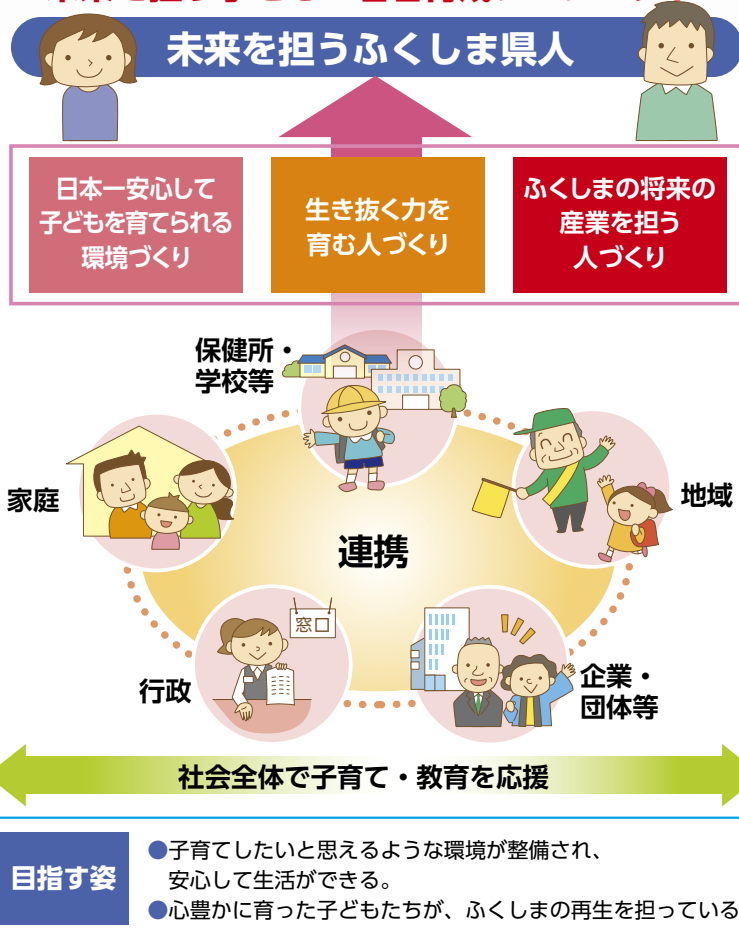
# 未来を担う子ども・若者を 育てるために



8月21日 県庁子ども参観デー

## 未来を担う子ども・若者育成プロジェクト

### 未来を担うふくしま県人



県では、ふくしまの再生を担う子どもたちが心豊かにたくましく育つために、子育てをしやすい環境づくりをさまざまな方面から進めています。ここでは社会全体で子育て・教育を応援していくための主な取り組みについてお知らせします。

日本一安心して子どもを育てられる環境づくり

本県では以前から、子育てしやすい環境づくりを進めてきましたが、東日本大震災、原子力災害は子どもたちの生活環境に深刻な影響を及ぼし、放射性物質による健康への不安などから、子どもや親を取り巻く状況が大きく変化しました。

子どもたちの健康を守り育てやすい環境を整備し、子どもたちが安全で安心な生活を取り戻すため、子どもの医療費無料化など、本県独自の取り組みを進めています。

また、ふくしまの未来を担う人づくりに向けて「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育て、心豊かにたくましく生き抜く力を育むための教育を推進しています。

子ども・若者の育成に全力を注ぎ、子どもたちの笑顔があふれるふくしまを創りあげ、「日本一安心して子どもを育てられる県」を目指します。

#### 目指す姿

- 子育てしたいと思えるような環境が整備され、安心して生活ができる。
- 心豊かに育った子どもたちが、ふくしまの再生を担っている。

知事  
メッセージ

子どもたちの笑顔あふれる  
「ふくしま」の再生に向けて

福島県知事 佐藤 雄平

● 原発事故の発生以降、慣れ親しんだ学舎や級友と別れての避難生活をはじめ、福島の子どもたちを取り巻く環境は一変しました。事故から一年半を迎え、学校や公園など子どもたちの身近な施設の除染が進み、子どもたちの明るい声も聞こえるようになりました。しかし、不安を抱えての生活はまだまだ続いております。

そうした中にも、子どもたちは、ふるさとへの思いや未来への希望をしっかりと抱いています。文化やスポーツでふるさと福島を元気にしたいと、目覚ましい活躍を見せる子どもたち。「これからも福島に住み続けたい」「福島で人の役に立ちたい」と力強く語りかける子どもたち。こうした子どもたちの思いに応えるためにも、健やかに成長できる環境づくりを進めていかなければなりません。

県では、「日本一安心して子どもを生み育てやすい県づくり」を復興計画の柱の一つにしました。これを実現するため、10月から全国初の取り組みとなる「18歳以下の医療費無料化」を始めます。

また、夢に向かい挑戦する意欲と創造力にあふれた、たくましい子どもを育てるため、知・徳・体のバランスのとれた教育と、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを進めてまいります。

子どもたちは福島県の宝であり、未来そのものです。将来、「福島に生まれ育ち、住んで、本当に良かった」と思ってもらえるよう、子育て・教育環境のさらなる充実、「ふるさと・ふくしま」の再生に全力で取り組んでまいります。



生まれたその日から成長を支えていく

復興の担い手となる子どもの健康を守り、子どもを育てやすい環境づくりを進める



出産や子育ての「安心」を支える  
【ふくしまの赤ちゃん電話健康相談事業】

子どもの安心を守る

妊婦さんや乳幼児の健康や育児、母乳などに関する不安や悩みに、助産師が答えます。希望者には母乳検査も無料で行います。

■相談電話

福島 / ① 024(573)0211、② 080(2835)9988

会津 / 0242(85)8303

いわき / ① 080(2826)4604、② 080(2827)3005

■相談時間 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）  
午前9時30分～午後4時30分



子どもの医療費無料化  
【子どもの医療費助成事業】

子どもの健康を守り、安心して子どもを生み、育てやすい環境づくりを進めるため、子育て支援策として、医療費助成の対象年齢拡大を図ることにしました。

現在、子どもの医療費の助成対象年齢は市町村によって異なっていますが、10月1日より18歳まで（18歳に達する年度の3月末日まで）に拡大、統一します。

子育てを支える



社会全体で子どもを育てる  
【地域の子育て活動への支援】

子育てを支援する人材を育成するとともに、市町村や民間団体が実施する各種事業に補助。「地域の寺子屋」を推進し、地域で知恵と経験がある方と、子どもとその親が交流することで、社会全体で子どもを育てます。

遊び場では子ども達の元気な声が響いています。



親の声

・楽しく子どもが遊んでいるのを見て、親としてもうれしかった。  
・安心して遊ばせられる場所があるのありがたい。

・広いところで思い切り遊べたのがよかった。  
・砂場で遊んだのが楽しかった。  
・友達ができてうれしかった。

子どもの声



子どもをのびのび遊ばせる  
【屋内遊び場確保事業】

子どもたちが安心して遊ぶことができる屋内遊び場の整備を進めています。

★屋内遊び場の情報はこちらから…

福島県 屋内遊び場一覧

検索

子どもの笑顔を応援



子どもの体験活動を応援する

【ふくしまっ子体験活動応援補助事業】

心身ともにリラックスできる環境の中で、子どもたちの体験活動を実施する学校・団体などを支援します。

【ふくしまっ子自然の家体験活動応援事業】

「郡山自然の家」と「会津自然の家」で子どもたちの自然体験活動を応援しています。

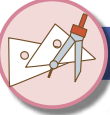


とても楽しいよ

# 復興のキは理数教育にあり！

再生可能エネルギーの研究や医学の現場などで活躍できる人材の育成に向けて

県では、小学生の算数・科学に対する興味・関心を高めるとともに、数学的な考え方や科学的な考え方を育てるため、小学生の理数教育に力を入れています。その取り組みの一つとして、夏休み期間中に理科、算数ともにそれぞれ3会場で小学4～6年生を対象とした講座を開催し、大変な人気を呼びました。その活気ある様子をご紹介します。



## 小学生算数講座 8月11日(土)・福島大学にて開催

テーマ

形の違う図形の広さを比べる工夫、見た目の違う物の重さを比べる工夫、鏡を使った図形の広がり体験など



▲鏡の中の不思議な世界をのぞいてみよう。

図形や立方体を使った授業では、グループごとにみんなで考え、答えをまとめます。友達と仲良く協力し、答えを見つけていく算数の楽しさを感じているようでした。アンケートでは、「算数って計算だけかと思っていた」「算数っておもしろい」「算数が好きになりました」という意見を多くいただきました。



▲ペットボトルとビー玉はどちらが重いのかな。

参加者の声

千葉 恵里子さん  
花さん(小5)



- 恵里子さん：子どもがぜひ参加したい、と希望したので応募しました。子どもも先生も保護者も楽しめる授業でした。普段だと、机の上や教科書の中だけでの勉強になりがちですが、手で触れて感じて考えて…と、広い視野で学習できました。
- 花さん：楽しかった！見た目で軽いか?と思ったものが重かったり、いつも背負って重いと思っていたランドセルが実は軽かったり、びっくりしました。実際に測って比べてみて、楽しかったです。



藤島 仁太郎さん  
(小5)

みんなで考えたりすることが楽しかった！想像した重さと全然違っていたものがあって驚きました。



## 小学生理科講座 8月20日(月)・いわき明星大学にて開催

テーマ

地球温暖化や再生可能エネルギーについて

いわき明星大学の先生から、地球温暖化や再生可能エネルギーに関連する話を聞き、省エネやエネルギーを生み出す大切さを学ぶことができました。また、温度差を利用して電気を起こし風車を回す実験や、燃料電池やバイオエネルギーで走る車に試乗するなど、最先端の研究に触れ未来に夢をはせる講座となりました。



▲燃料電池によって走る車に試乗

参加者の声

児童の感想

- ぼくはもともと地球環境や科学に興味をもっていました。でも再生可能エネルギーについてはあまり知らず、知らずともしませんでした。でも、すごく大切なことだと実感しました。いい話がたくさん聞けたり、楽しくできたので大満足です。(小6.男子)
- 授業がとても分かりやすく楽しくできました。私は理科が苦手でしたが、実験や体験をすることによって、すごく楽しく感じました。今日、参加して良かったです。(小6.女子)

保護者の感想

- 大学の先生の講義を受講するという機会に恵まれ、本格的な実験器具と生活に密着した実験の感動が、子どもたちの表情から読み取れました。
- 大人の私も子どもに戻った気持ちで楽しく学ぶことができ、楽しく貴重な体験をさせていただきました。
- 子どもが夢中で取り組んでいる姿や、生き生きした表情を見ることができ、参加できて良かったと思います。
- 月に1回ぐらい講座を開催してほしいと思いました。

# 震 災 の 記 憶

## 新地町の津波体験を後世へと語り継ぐ

福島県の最北端にある新地町で営んでいた旅館「朝日館」は、釣師・濱漁港で上がった新鮮な海の幸を提供し多くの宿泊客に愛されてきました。海岸の近くにあった建物は津波でさらわれ、歴史ある旅館を閉じることにした元女将は「あの日」の体験を多くの人に語り継いでいきます。

### 子どもの頃に聞いた 震え上がるほど怖い話

朝日館の元女将・村上美保子さんは、3時からのチェックインを控え準備中に大きな揺れを感じました。「これは津波が来る」と確信し、ご主人や近隣にも避難を呼びかけたものの返って来るのは「まさか津波なんてこないよ」という返事ばかり。

「幼い頃、三陸海岸に近い岩手県下閉伊郡



▲明治時代から続いた旅館「朝日館」の元女将・村上美保子さん。骨組みだけになった建物に朝日館の名前が残っていたのを見て「老舗旅館の意地を感じた」と言います



▲ボランティアで新地町を訪れた大学生たちに自らの経験を話す村上さん

岩泉町で暮らしていて津波の恐ろしさを折に触れ教えられてきました。その記憶から、とにかく高いところに逃げなければならぬと思ったのです。

昭和9年の三陸大津波では、高台にある神社の階段の何段目かが、逃げた人の生死の境になったこと、明治29年の時には水が引いたあとに高い木の枝に髪がひっかかって女性が亡くなっていたことなどを聞かされ、震え上がるような怖さとともに「津波は思ってもよらないほど高くまどくる」ことが村上さんの心に刻まれていたのです。

### 鉄道の遮断機を通り抜け おにぎりを買って避難所へ

旅館を離れるのを渋るご主人を説得し、車で指定避難所を目指す時、鉄道の遮断機が行く手を阻んでいました。遮断機のすき間をようやく車で通り抜けて、沿岸を後に。途中のコンビニで散乱していたおにぎりを買い取り、高台の駐車場に車を入れた瞬間に「津波だあー」という声が聞こえました。おにぎりは偶然にも避難所に集まった人数分ありました。

「小さな頃に教えられた記憶が、私たち夫婦の命を救ってくれました。これからは、若い人たちに自分の経験を語り継いでいくことが、生き残った自分にできる恩返し」と村上さん。ボランティアで全国から寄せられる講演依頼に応じ忙しい日々を過ごしています。

募集しています

県では、東日本大震災の体験、記録、記憶、教訓などを募集しています。  
県歴史資料館（電話 024-534-9220）まで情報をお寄せください。  
いただいた情報については、あらかじめ日程を調整し、記録などの収集に伺います。



10/27(土)  
▶28(日)

入場無料

郡山市民文化センター  
(要入場整理券(応募締切 9/28(金))  
※28日(日)のみ空席状況により当日券発行  
郡山駅前エリア  
会津総合運動公園

※会場周辺は混雑が予想されますので、公共交通機関、シャトルバスをご利用ください。

全国の祭りが福島に集結！国内外の多彩な地域伝統芸能をはじめ、震災を乗り越え、強い絆で守り抜かれたふくしまの芸能などが公演されます。彼らの力強い演技は「ふるさと」の復興の象徴であり、そのひたむきに演じる姿は、多くの人々に勇気と感動を与えます。伝統芸能の体験コーナーや伝統工芸品の手作り体

験コーナー、ご当地グルメ&観光物産コーナーなどの“ふるさと”がもっと好きになる楽しいイベントもいっぱい！華やかなパレードも！ぜひ会場で、ふるさとの元気を体感してください。

事務局：県庁文化振興課 TEL：024-521-7154

福島 ふるさとの祭り 検索

おいしい餃子パワーを全国へ！

# 福島市の円盤餃子

カリッとジューシー&ヘルシー



福島市の庶民的な食べ物、B級グルメ「円盤餃子」は、昭和30年後半、サラリーマンが仕事帰りに「餃子で一杯」が定番になったのが始まりで、フライパンに円形に並べて焼くことから「円盤餃子」と呼ばれるように



ふくしま餃子の会会長  
たか ぼし 豊 さん

なりました。キャベツをたっぷり使ったヘルシーな餃子は、ついつい箸が進むおいしさです。平成15年には「ふくしま餃子の会」が発足。現在17店舗が加盟し、餃子を生かした街おこしに取り組んでいます。

同じように餃子で街おこしをしている全国11市町が参加して、10月に福島市で「第3回全国餃子サミット&餃子万博」が開かれます。当初は他の街で開催予定でしたが、風評被害を吹き飛ばし元気を発信してほしいと、福島で開催することになりました。「震災後、餃子の会宛てに全国の参加団体から冷凍餃子が届き、仮設住宅やイベント時に振る舞ったりしました。そうした全国からの支援がうれしかったですね」と、事務局を担当する福島商工会議所の土田正興さんは話します。



福島商工会議所 地域振興課  
つち だ まさ おき 土田 正興 さん

## 全国餃子万博inふくしま

10月13日(土)~14日(日)

場所 / JRA 福島競馬場

### 【主な出店】

ふくしま餃子国 / みやしろ餃子国 / 宇都宮餃子国 / すそのギョーザ国 / 浜松餃子国 / 八幡ぎょうざ協和国 / 伊那餃子国 / 津山餃子国 / 加古川ホルモン餃子国 / 津ぎょうざ国 / かわさき餃子国

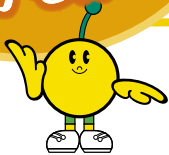
問 / 全国餃子サミット・餃子万博  
in ふくしま実行委員会 (福島商工会議所内)  
TEL024-536-5511

「サミットは、各「餃子国」が街おこしについて話し合うもので関係者のみとなりますが、万博は入場無料です。どなたでも参加可能。ふくしま餃子国からは7店舗が参加予定で、他にも全国から30店ほどが出店を予定しており、10万人以上の来場者を目標に内容の充実を図ろうと準備を進めています。ふくしま餃子国大統領（ふくしま餃子の会会長）の高橋豊さんも「全国の餃子を食べ比べしながら、食の安全・安心を発信していきたい。福島が頑張っている姿を、全国にPRできれば」と、イベントに期待を寄せています。



▲イベントのPRにと行われた巨大円盤餃子作り。1,111個・24.5kgの餃子を一度に焼いた記録として、ギネス世界記録に申請予定！





## 県民健康管理調査について

県では、東日本大震災や原子力発電所の事故により、多くの県民の皆さんが健康に不安を抱えている状況を踏まえ、長期にわたり県民の皆さんの健康を見守り、将来にわたる健康増進につなげていくため「県民健康管理調査」を実施しています。

### Q 県民健康管理調査はどんなことをしているの？

**A** 県民健康管理調査は、大きく分けて **基本調査** と **詳細調査** があります。  
**基本調査** は、震災後4ヶ月間（放射線の空間線量が最も高かった時期）の外部被ばく線量を推計するもので、その結果を一人一人にお知らせするとともに、**今後、長期にわたる健康管理の基礎**となるものです。  
**詳細調査** は、健康状態を確認するもので、**(1)甲状腺検査、(2)健康診査、(3)こころの健康度・生活習慣に関する調査、(4)妊産婦に関する調査、の4つの調査**を実施しています。  
 また、各種調査の結果はデータベースに蓄積して、県民の皆さんの健康管理に役立てていきます。

### Q どのようなスケジュールで行っているの？

**A** 県では、次のようなスケジュールで県民の皆さんの健康を長く見守っていきます。



お問い合わせ先 県立医科大学県民健康管理調査事務局 ☎024-549-5130（土日祝日を除く 9:00～17:00）

## 主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時 土日祝日：午前8時30分～午後6時	☎0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	月～金曜日：午前8時30分～午後8時（祝日を除く） ※毎週水・金曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施	☎024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅などへの入居及び被災住宅の改修に関すること	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日：午前9時～午後5時（祝日を除く）	☎024(521)7698
	県外に避難した人の相談	県庁避難者支援課 または 避難元（先）の自治体 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分（祝日を除く）	☎024(523)4157
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日：午前9時～正午、午後1時～午後4時（祝日を除く） このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	☎0120(899)721 フリーダイヤル ☎024(521)7017

# ふくしまの 今

みんなの元気を  
取り戻したくて

福島市松川の仮設住宅の管理人を務める佐野ハツノさんは、昨年7月末に入居が始まった直後から不安を感じていました。「ほとんどの人が村を離れたことがなく、家族と一緒に畑仕事をして真面目に生きてきた人ばかり。一カ月もたたないうちに、元気が無くなった人たちが目につくようになったの」。

なかでも気がかりだったのが、80歳になった菅野ウメさん。物

飯館村の女性たちが福島市の仮設住宅で結成した「いいたてカーネーションの会」。「までい」\*な縫い物の腕を生かしながら、逆境を乗り越えるべく頑張っています。

※「までい」とは、手間ひまを惜しまず、丁寧に、じっくりと、つつましく、心を込めたという意味。飯館村の暮らしを象徴する言葉です。

仮設住宅から飯館の「までい」を発信！  
元気に縫い物を続けて恩返しを

いいたてカーネーションの会代表 ● 佐野ハツノさん（飯館村／福島市松川工業団地第1仮設住宅）

知りで働きの、地域のみんなから頼りにされる存在だったウメさんが、仮設では家に閉じこもり、あらゆる人との関わりを拒んでいました。心配して毎日訪ねてくるハツノさんに根負けして、ある日ようやく姿を見せたウメさん。その時、着ていた二部式の着物を見て、ハツノさんにアイディアが浮かびます。

「この着物の作り方をみんな

いいたて  
カーネーションの会



(上)「ここではみんな家族同様。だけど本当は村に帰りたい」と菅野ウメさん。「いいたてカーネーションの会」という名前は、昨年放送されたNHK連続ドラマのヒロインに思いを重ねてつけました。

(右)古い着物をほどこし上衣ともんぺに作り直した「までい着」。「とても動きやすいんですよ」と佐野ハツノさん。



# 絆つないで

地元の食材を使った特産品や料理開発を行っていた福島県東部のあぶくま地域の女性農業者たち。震災で避難生活を送る中、これまで磨いた腕を生かして食品の製造販売を行う「かーちゃんのカ・プロジェクト」の活動を進めています。

## かーちゃんのカ・プロジェクト [福島市]

☎024(567)7273



▲3月に開催された福幸焼き・結プロジェクト



▲美味しいと評判の漬物づくり

一人じゃないから、頑張れる。  
みんなでつなく、かーちゃんのカの味。

かーちゃんのカ・プロジェクトは、昨年10月末に福島大学小規模自治体研究所が避難している女性たちを支援するために立ち上げたプロジェクト。飯舘村から避難してきた渡邊とみ子さんは、震災でバラバラになった女性農業者の仲間を探し避難先を訪ね歩きました。その中で、「もらうばかりの支援ではなく、何か動き出したい」と多数の声が寄せられ、一緒に活動をスタートさせました。



▲販売している漬物や豆みそなどの商品

昨年11月に、NPO法人ほうらいから拠点となる「あぶくま茶屋」を借り、餅作りを開始。県外から食材の支援を受けながら「結もちプロジェクト」や、ねぎ焼きや凍み餅を振舞う「福幸焼き・結プロジェクト」を開催。そして今年の5月からお弁当の販売を始めるなど、徐々に活動を広げてきました。かーちゃんたちが作ったお弁当や漬物、餅などの加工品は、放射性物質検査を実施し、安全なものを販売しています。

「一人では出来ないことも、みんなで行えば力になる。失ったものは多いけど、諦めずに前を向いて進んだらたくさんの方に出会い、支えられてここまで来られた」と渡邊さんは話します。これからは、加工品販売のほか、イベントなどに参加し、故郷の味を次世代に伝える活動を続けていく予定。お世話になった方への感謝を胸に、かーちゃんたちの挑戦は続きます。



▲愛情たっぷりの「かーちゃんのカ笑顔弁当」



▲かーちゃんのカ・プロジェクト協議会の渡邊とみ子さん(右から2番目)たち

に教えてよ」——ハツノさんの言葉に最初は気乗りしない様子のウメさんでしたが、希望者はすぐに20人を超え、実際に集まって裁縫を始めるとウメさん持ち前の面倒見の良さがよみがえってきました。そもそも、この着物は古くなった着物をほどこいて作った普段着。古い着物も大切に丁寧に扱ってきた飯舘の「ままでい」な暮らしのなかで継承されてきた文化です。故郷への思いを共有しながら、手作業を続けるうちウメさんの目が生き生きと変わってきました。

## 全国から集まった応援 有名デパートから引き合いも

「ウメさんに釣られてみんなが明るくなるのがうれしくてね」とハツノさん。素材にするために「着ない着物をぜひ寄贈してほしい」とほうぼうに声をかけたところ、全国から「活用して」と古い着物が届きました。これを仕立て直した二部式の着物を「ままでい着」と命名。やがて各方面で話題となり、いまでは全国の有名デパートから引き合いがくるほどの人気です。「大切な着物をいただいたも

ちゃんとお礼ができないのが心苦しくて」と話すウメさんたちには、ハツノさんは明るく声をかけます。「元気で続けていくことが何より恩返し。私たちみたいなたちが増えてくれるようにしたいよね」。

今年6月、ハツノさんは、内閣府「女性のチャレンジ大賞」防災・復興特別部門を受賞。「これは飯舘の人みんなの賞だから」と誇らしげな笑顔をみせてくれました。



(上)「ままでい着」などの品々は仮設住宅入り口にある店舗で購入することもできます。

(下)飯舘村から避難した115世帯が暮らす福島市松川工業団地第1仮設住宅。入居者の平均年齢は70歳を超え48世帯が一人暮らしです。



全国門前町サミット in 会津柳津実行委員会 柳津町観光商工課



☎0241(4)2114



柳津町  
第10回全国門前町サミット  
in 会津柳津

日本全国の神社仏閣を中心に発展してきた門前町を有する自治体・観光・商業関係者などが集まり、地域活性化・町づくり推進のため開催する会議です。第10回目は柳津町

を会場に開催されます。10月26日(金)は講演会、パネルディスカッション。27日(土)は赤べこまつりとして地元B級グルメなど各種イベントを開催します。



広野町  
第18回ひろの  
童謡まつり

東日本大震災と原発事故からの復興シンボル事業として、ふるさと広野への思いと町民の絆をさらに深め、町が一体となって復興するために、童謡コンサートを開催します。当日は、広野の子どもたちも参加します。

【日時】10月14日(日) 午後1時  
30分から2時間程度

【場所】広野町中央体育館

広野町企画グループ

☎0240(2)2114



大熊町観光協会(大熊町商工会内)



☎0242(2)9(5)770



いわき市  
大熊町ふるさとまつり in いわき

各地に避難している町民が集まり近況を話し合える場として、「大熊町ふるさとまつり in いわき」を10月28日(日)好間工業団地第3仮設住宅を会場に開催します。ステージや出店、遊具など子どもから高齢者まで楽しめる内容です。ご家族おそろいでご来場ください。



南会津町  
斎藤山  
ふれあい登山

全国の「サイトウさん」いらっやい。

10月21日(日)、会津百名山で知られる斎藤山で、全国の「サイトウさん」に参加を呼びかけるふれあい登山を開催します。もちろん「サイトウさん」以外の方の参加も大歓迎です。

紅葉の中、登山を通して自然に親しんでみませんか。

南会津町商工観光課

☎0241(6)6200



磐梯山ゴールドライン 磐梯吾妻スカイライン 磐梯吾妻レークライン

**福** 福島県 観光有料道路 無料開放

→ 2012年11月15日(木)まで

※通行期間の最終日以降は3路線とも冬季閉鎖となります。

磐梯吾妻スカイライン 浄土平駐車場も無料開放!

全車両対象!! 福島県道路公社

福島県×天地明察×タカラッシュ!

映画「天地明察」9/15公開記念

**コードF-3**

今度の宝探しは、天文学者からの挑戦状!?

暦学、天文学、算術が描かれた、謎めいた絵馬を手掛かりに、福島県内7つのエリアに隠された宝箱を探せ!

開催期間 9/1(水)~11/25(日)

開催場所 福島県内7エリア

伊達市 三春町 白河市 会津若松市 会津美里町 南会津町 いわき市

本イベントは、謎めいた宝の地図(参加チラシを手がかりに、福島県内エリアのどこかに隠された宝箱を探し体験型)の宝探しゲームです。宝の発見には、先着順で各エリアのオリジナル特典と発見者賞をプレゼント。抽選で宝の宝庫をプレゼントします。

県内の主なイベント

- 10月**
- 北塩原村 裏磐梯秋まつり**  
10月12日(金)～14日(日) メインイベントは最終日/  
休暇村裏磐梯多目的広場  
☎ 裏磐梯観光協会 0241(32)2349
  - 相馬市 第30回相馬民謡全国大会**  
10月13日(土)～14日(日) / 相馬市総合福祉センター(はまなす館)  
☎ 相馬民謡全国大会事務局(商工観光課内) 0244(37)2155
  - 只見町 奥会津只見うまいもんまつり**  
10月13日(土)～14日(日) / 只見町青少年旅行村「いこいの森」  
☎ 只見町商工会 0241(82)2380
  - 会津美里町 会津美里ふれあいウォーク2012**  
10月20日(土) / 会津美里町ふれあいの森公園  
☎ 会津美里ふれあいウォーク実行委員会 0242(54)6007
  - 桑折町 元気いっぱい交流市 ～復興祭～**  
10月21日(日) / 桑折町旧福島蚕糸跡地  
☎ 桑折町商工会 024(582)2474
  - いわき市 いわき街なかコンサートin TAIRA**  
10月20日(土)～21日(日) / いわき市平地区  
☎ いわき街なかコンサート実行委員会 0246(47)0130
- 11月**
- 白河市 第16回しらかわ音楽の祭典**  
11月4日(日) / 白河市民会館  
☎ 白河市生涯学習スポーツ課 0248(22)1111(内線2384)
  - 新地町 新地町復興産業まつり**  
11月11日(日) / 新地町役場・農村環境改善センター  
☎ 新地町農林水産課 0244(62)2194
  - 矢吹町 復興元年「やぶき復興祭」**  
11月11日(日) / 矢吹球場  
☎ 矢吹町産業振興課 0248(42)2115
  - 三春町 三春ウォーク2012**  
11月23日(金) / 三春町内  
☎ 三春町産業課 0247(62)3960

その他の行事はホームページ [福島県内の主な行事](#)

**福島空港** 10月1日～27日 ※運航日、発着時刻は予告なしに変更される場合があります。

<b>福島→札幌(新千歳)→福島</b>		特典 <b>福島空港ファンクラブ</b> 満載 <b>会員募集!</b>
11:30▶12:50	09:40▶11:00	
19:20▶20:40	17:30▶18:50	
<b>福島→大阪(伊丹)→福島</b>		特典 <b>福島空港ファンクラブ</b> 満載 <b>会員募集!</b>
09:15▶10:25	07:40▶08:45	
10:15▶11:25	08:40▶09:45	
12:30▶13:40	10:55▶12:00	
16:40▶18:10	14:30▶15:55	
19:05▶20:15	17:30▶18:35	

☎ 福島空港ファンクラブ事務局 0246(35)1781

入会費 年会費 無料

10月1日～27日運休

**埴町**

今年もやります!  
水上俵引き競走

11月23日(金)、埴小学校校庭をメイン会場に、埴町の農・商・工が一体となったイベント「第23回埴町産業祭」が開催されます。会場の隣を流れる久慈川では、名物イベント「第22回埴町代官カップ! 水上俵引き競走」を開催します。メイン・女性・仮装の部があり、迫力満点のレースです。

☎ 0247(43)2112  
埴町産業祭実行委員会(埴町まち振興課内)



地域伝統芸能全国大会 **福島大会**  
**ふるさとの祭り2012**  
題字: 菊池錦子氏

同時開催 イベント  
10月27日(土)～28日(日)

**郡山市 郡山の農業・観光物産展**

郡山市の農産物・物産品をはじめ、姉妹都市(奈良市・久留米市・鳥取市)と安積開拓ゆかりの自治体(米沢市ほか)の自慢の物産品が販売されるほか、各種ステージイベントも開催されます。

【場所】大町通り、駅前大通り、なかまち夢通り  
☎ 郡山の農業・観光物産展実行委員会 ☎024(924)2621



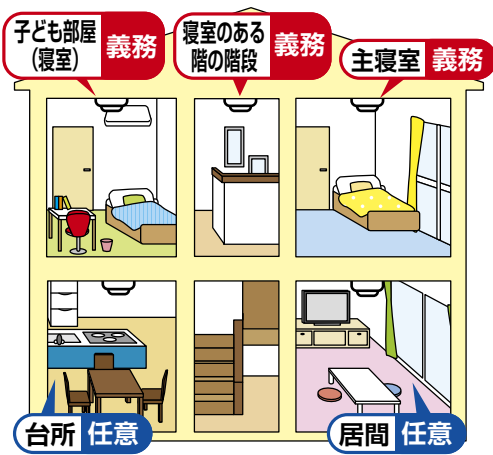
**会津若松市 会津ブランドものづくりフェア**

伝統工芸品から最先端の工業製品まで、会津地域の幅広い「ものづくり」のチカラが一堂に集結します。

【場所】会津ドーム及びその周辺  
☎ 会津若松市商工課 ☎0242(39)1252

なるべく公共の交通機関、シャトルバスをご利用ください。  
詳しくは [福島 ふるさとの祭り](#)

# 県からのお知らせ



昨年6月から、全ての住宅に、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

**お願い**  
 大切な生命を守るために  
**住宅用火災警報器を  
 設置しましょう**

**問**  
 県警察本部生活安全企画課  
 ☎024(526)2151

**お願い**  
**みんなでつくろう安心の街  
 ～全国地域安全運動～**  
 10月11日(木)から20日(土)までの10日間、「みんなで作ろう安心の街」を統一スローガンとして、全国地域安全運動が実施されます。  
 運動期間中、会津若松市で県民大会が開催されるほか、各地域では万引き、自転車盗難、振り込め詐欺、仮設住宅などにおける犯罪被害を防止するため、地域が一体となって防犯診断、キャンペーンなどの活動を展開し、犯罪の起きにくい社会づくりを目指します。  
 皆さんのご協力をお願いします。

**お願い**  
**みんなでつくろう安心の街  
 ～全国地域安全運動～**

演「就活の歩き方」(今年度就活生による)

**募集**  
**ふるさと就職を応援！  
 「大学生等の保護者向け就職  
 支援セミナー」参加者募集**

**問**  
 県庁災害対策課  
 ☎024(521)7194  
 福島県 災害

● 正しい情報に基づき、身の安全を確保しましょう。  
 ● 非常持出品を準備し、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。  
 ● 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。  
**問**  
 地震が発生したとき、被害を最小限に抑えるには、一人一人が慌てずに適切な行動をとることが大切です。  
 ● 日頃から、避難場所や避難路を確認するなど、家族でよく話し合っておきましょう。

**お願い**  
**地震への備えは  
 できていますか？**

**問**  
 最寄りの消防署、消防分署など  
 または県庁消防保安課  
 ☎024(521)7193

建物火災による死者のうち約9割が「住宅火災」によるもので、特に午後10時から翌朝午前6時までの時間帯に多く発生しています。住宅用火災警報器は、火災の発生をいち早く感知し、知らせることができるものです。住宅火災から尊い命や大切な財産を守るため、まだ設置していない人は、一日も早く住宅用火災警報器を設置しましょう。

**福島県ハイテクプラザ**  
 ☎024(959)1741

**募集**  
**あつまれっ！  
 ハイテクプラザ2012**

**問**  
 県庁雇用労政課  
 ☎024(529)5382  
 ☎024(521)7290

科学やものづくりの楽しさを体験する「あつまれっ！ハイテクプラザ」を開催します。  
 ワークショップ(科学の原理や不思議な科学現象の体験・学習、ものづくりの楽しさを体験する簡単な工作)や、県ハイテクプラザの研究成果や設備機器の紹介を行います。  
 大人も子どもも楽しめるイベントです。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

**問**  
 大学生等の保護者向け就職支援セミナー運営事務局  
 ☎024(529)5382

開催日  
 10月27日(土)郡山市労働福祉会館  
 10月28日(日)コラッセふくしま  
 11月3日(祝)いわき産業創造館L.A.T.O.V  
 11月4日(日)會津稽古堂  
**時間**  
 午後1時30分～午後4時30分  
**参加料**  
 無料  
**申し込み**  
 事前に電話で申し込みをしてください。

同志社所蔵の八重コレクション100点、ふるさと福島へ  
 2012年  
**9/14** [金] → **11/4** [日]  
**新島八重の生涯と 戊辰戦争展**  
 開館時間 午前9時～午後5時 休館日 月曜日  
 ※入館は午後4時30分まで (但し、月曜日が祝祭日の場合は翌日休館)  
**白河会場** 白河集古苑 福島県白河市郭内1-73 TEL.0248-24-5050  
**二本松会場** 二本松市歴史資料館 福島県二本松市本町1-102 TEL.0243-23-3910  
 白河・二本松・会津若松を巡るスタンラリーも同時開催！！  
 お問い合わせ 福島県観光交流局観光交流課 TEL.024-521-7286 八重の桜 福島県

# 施設インフォメーション

**福島県立博物館** 会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

**福島県立博物館**

## 秋の企画展「会津の寺宝」

会津仏教会の創立 100 周年を記念して、会津の寺院に伝えられてきた多彩な宝物の数々を展示します。

●開催期間：10月6日(出)～11月25日(日) ●入館料：一般・大学生500(400)円、高校生300(240)円、小・中学生200(160)円 ※( )は20名以上の団体料金 ●休館日：毎週月曜日(ただし10月8日(祝)は開館)、10月9日(火)



木造十一面観音立像(会津若松市 明光寺蔵 泉重文)

## 「会津・漆の芸術祭2012-地の記憶 未来へ」

会津若松市内、喜多方市内を会場に開催している会津・漆の芸術祭。今年で3年を迎えます。各地の会場へぜひお越しください。

●開催期間：10月6日(出)～11月23日(祝) ●お問い合わせ：会津・漆の芸術祭事務局(福島県立博物館内) ☎0242(28)6067

**会津・漆の芸術祭**

**福島県立美術館** 福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

## いのちの煌めき 田淵俊夫展

田淵俊夫(1941-)は、現代を代表する日本画家です。線描による細密描写や、独自の水墨技法によって、植物の生命力や、大地に流れる悠久の時間を表現してきました。本展では、代表作51点によって、田淵作品の魅力に迫ります。



「木の間」1993年 黒部峡谷セレネ美術館蔵

●開催期間：10月6日(出)～11月25日(日) ●観覧料：一般・大学生800(640)円、高校生600(480)円、小・中学生400(320)円 ※( )は20名以上の団体料金 ●休館日：毎週月曜日(ただし10月8日(祝)は開館)、10月9日(火)

**福島県立美術館**

## ふくしま教育週間

期間中、小・中学生・高校生は、福島県立美術館・福島県立博物館の企画展入場が無料になります。【11月5日(月)は休館】

## 環境水族館 アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町 50 ☎ 0246(73)2525

### 小名浜国際環境芸術祭

アート大漁旗デザインコンペに応募された皆さんのデザイン旗を展示します。その他、シーボーンアートや子どもたちの作品などが館内各所に展示されます。



一般公募のオリジナルデザインの大漁旗が海風にたなびきます。

●開催期間：9月15日(出)～11月11日(日) ●入館料：一般・大学生1,600円、高校生・小中学生800円、未就学児無料 ●年中無休

**アクアマリンふくしま**

**福島県文化財センター白河館 まほろん**

白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

## ふくしま里帰り展「ふくしま考古学研究所の春暁」

棚倉町崖ノ上遺跡や新地町新地貝塚などの出土品・関連資料を紹介し、福島県の科学的な考古学研究所の始まりに触れます。



崖ノ上遺跡出土の弥生土器

●開催期間：10月6日(出)～12月2日(日) ●観覧料：無料 ●休館日：月曜日(ただし10月8日(祝)は開館)、10月9日(火)

**まほろん**

**ビッグパレットふくしま** 郡山市南二丁目

☎ 024(947)8010

**ビッグパレットふくしま**

10月13日(出)～14日(日)	福島トヨペット ハイエスフェア&ラインナップフェア
11月7日(水)～8日(木)	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2012
11月28日(水)～29日(木)	メディカルクリエーションふくしま2012
12月1日(出)～2日(日)	ワタナベスポーツ感謝セール

**福島県文化センター** 福島市春日町

☎ 024(534)9191

**福島県文化センター**

《ふくしま文化復興事業》を展開しています。 ※有料のイベント

10月5日(金)	「大興 第一章」福島公演*
10月13日(土)	TOSHIHIKO TAHARA DOUBLE "T" TOUR2012**
10月30日(火)	Char Tour 2012 TRADROCK by Char**
11月17日(土)	それいけ!アンパンマンミュージカル「いのちの水を救え!」*

**コラッセふくしま** 福島市三河南町

☎ 024(525)4098

**コラッセふくしま**

10月1日(月)～7日(日)	ふくしま心墨会 水墨画作品展
10月15日(月)～18日(木)	微笑・活力の街 バンコク写真展
10月22日(月)～28日(日)	花香風X
11月9日(金)～12日(月)	ポタニカルアート作品展

## 広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧になれます▶

**広報ステーション**

### ◎県政新聞広報

**県からのお知らせ**  
【福島民報・福島民友】  
毎月第2・第4土曜日の翌日

### ◎県政テレビ番組

**うつくしま情報局**  
～ふくしまから はじめよう。～  
【福島テレビ (FTV)】  
毎週日曜日 9:45～10:00  
**ウィークリー県政トピックス**  
【福島放送 (KFB)】  
毎週日曜日 17:25～17:30

### 県政 TV

～ふくしまから はじめよう。～  
【福島中央テレビ (FCT)】  
毎週土曜日 11:40～11:55  
**ウィークリー県政ナビ**  
【テレビユー福島 (TUF)】  
毎週日曜日 11:40～11:45

### ◎県政ラジオ番組

**知事室からこんにちは**  
ふくしまからはじめよう。ふるさとだより  
【ラジオ福島 (rfc)】  
毎月最終火曜 12:30～12:45  
**ふくしま EVENING BREAK**  
【ふくしま FM】  
毎週月～金曜 17:30～17:35

復興の願いを込めて——  
ふくしまから“ゆめえもん”はじめよう。キャンペーンで生まれた  
“ふくしまの旬” 桃とトマトのムースが  
当たる!

問題

10月27日(土)、28日(日)、郡山市と会津若松市に  
全国の地域伝統芸能が集まる大会の名称は?

ふるさとの○○2012

○の中に文字を入れてください。(ヒントは7ページ)

- 応募方法／はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「ふくしまの旬 桃とトマトのムース」を差し上げます。
- 締め切り／10月24日(水)当日消印有効  
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

広報ステーション

検索

電子メール yume@pref.fukushima.jp

ファクス 024(521)7901



30名様に  
プレゼント

県公式フェイスブックページなどに皆さんから寄せられた情報をもとに、グルメ情報誌「dancyu」と世界初の野菜スイーツ専門店「パティスリーポタジエ」のオーナーパティシエ柿沢安耶さんが開発。薄いスポンジケーキの上に伊達産の桃のムースと南郷トマトのムースを重ねた、それぞれの素材の自然な味わいが楽しめるスイーツです。(冷凍保存してお届けします。)

9608670

県庁  
広報課  
「ゆめクイズ」係

クイズの答え

ふるさとの○○  
2012

興味を持った記事  
地元で誇りにしている宝  
本誌へのご意見・ご感想  
県政への疑問・質問など  
住所 氏名 年齢  
職業 電話番号

※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、商品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。  
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★10月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(8月号)の正解は 「南郷トマト」 でした。

次回 (No.235) は 12月1日号です。